

## 2023 第1回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【英語】

中学生になって最初のテストであり、今年度は、アルファベットなどの基本問題とやや難度の高い語い問題を含めた問題構成になっています。be 動詞の文と一般動詞の文の構造の違いを明確に理解しているかがポイントになります。

### 1 アルファベット・語い問題

#### (A) アルファベットの大文字・小文字

アルファベットの大文字・小文字を区別して書くことが要求される基本問題です。

#### (B) 2つの語の関係に当てはまる語

この時期における単語の知識量の違いで大きく差がつく問題です。また、正しいスペルで単語を書く力も要求されます。

#### (C) 単語のつづり

各単語の空所に当てはまる1文字を答える問題です。答えるのは1文字ですが、各単語を正しいスペルで覚えていないと答えられない問題です。3の elephant 「ゾウ」、5の vegetable 「野菜」が少し難しいかと思います。

### 2 発音問題

発音・アクセントに関する問題は、多くの受験者が苦手としています。中1の段階から発音記号を覚えて、単語を正しく発音する習慣を身につけておきたいところです。また、(A)のアクセント問題の1・2・5は、日本語とはアクセントの位置が異なる発音をするので、注意が必要です。

### 3 連立完成問題

1は、上の一般動詞の疑問文を下の英文ではbe動詞の疑問文にします。この問題は今後の英語学習の基本となる問題です。4は、上の英文の「私は数学の先生だ」というbe動詞の文を下の英文で「私は数学を教えている」という一般動詞の文になります。いずれの問題も上の英文と同じ内容になるように日本語で言い換えることができれば、空所に入る語は判断しやすいと思います。

#### 4 書き換え問題

2は「あの家は古い」を「あれは（1軒の）古い家だ」に言い換えた英文にします。3は下線部が人名の Jane なので、Who で始まる疑問文にします。また4は What で始まる疑問文ですが、主語が you に変わると、それに伴って後の「かばん(の中)に」という語句も in your bag に変わることにご注意しましょう。

#### 5 対話文完成問題

1と4は対話文の前後に着目し、空所に入る答えを判断します。1はBの my sister, Mary「私の姉[妹]のメアリー」から、空所①に疑問詞 Who が入り、空所②にはAの that woman（女性）から、She is の短縮形 She's が入ると判断します。4はBの very fine「とても元気だ」から、空所⑦には疑問詞 How が入り、空所⑧にはAの your grandfather（男性）から、He is の短縮形 He's が入ると判断します。3は会話表現の知識を問う問題です。頻出会話表現の Thank you for～「～をありがとう」、You are[You're] welcome.「どういたしまして」などは中1の早い段階から覚えておきましょう。

#### 6 整序英作文問題

2は「どんなスポーツ」という日本語から、What sport で始まる疑問文にすることができるかどうかポイントです。4は that white cat「あの白い猫」が主語で、your friend's pet「あなたの友達のペット」が述語の疑問文ですが、まず肯定文の That white cat is your friend's pet.を作り、疑問文にするために be 動詞 is を文頭に移動するといった方法が確実だと思います。

#### 7 英文読解問題

美しい海辺の町に住む翔太が、自分や自分の家族、親友のことを語った自己紹介文です。問2の適語補充について、(2)は member「一員」が答えられるかどうかポイントになります。(5)は「サーフィンが上手だ」という日本語を「上手なサーファー[サーフィンをする人]」に置き換えて形容詞 good が答えられるかどうかポイントになります。問5の英問英答について、3の所有格の its「その」を答える問題は他の人称代名詞の所有格 his, her と違って、あまり出題されることがないので、書けた人は少ないと思われます。問6の内容真偽は、本文の内容を読み取ることができれば容易に答えることができる問題です。今回のテストでは選択肢の文がすべて日本語でしたが、今後のテストでは、英文になるので、本文の内容を読み取ることと同時に選択肢の英文を読み取ることも必要になります。

## 2023 第1回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【数学】

### 1 計算問題

(1)は正負の数の基本的な計算規則を理解できているかを確認しています。(2)では正負の数の分数計算ができるかを確認しています。(3)は文字式の計算で、分配法則や同類項をまとめることができるかを確認しています。(4)は分数の文字式の計算ができるかどうか、特に、通分後1つの分数にまとめる際に、「-3」を「+3」に変えることを理解できているかを確認しています。

計算力は数学力の基礎の一つです。本番で早く正確に計算できるように、日々、問題の解き方を理解するだけでなく、正しい答えを得るまで実際に自分で計算してみることが大切です。

### 2 小問集合

(1)「5個足りない」という文言から「-5」とする誤りをしないかを試しています。(2)柱体の容器に水を入れる場合の、(水の深さ)=(水の体積) $\div$ (容器の底面積)という関係を理解できているかを確認しています。(3)「+」「-」「 $\times$ 」の入れ方はたかだか6通りしかないので、それを1つずつ計算していけばそれほど時間をかけずに「最小」を発見できるはずですが、その判断ができたかどうかや個々の計算がミスなくできたかを試しています。(4)正負の決まり方の基本的なルールを正しく理解できているか、また正負の判定は、積や商から考えることなどを理解できているか、それらを含め、論理的な思考ができるかを試しています。(4)はやや難しい小問として出題しましたが、このような小問で解法が思いつかなかった場合、いったん保留にして次に進むことも、受験をする上では必要であることも確認させたいことの一つです。

### 3 正負の数の利用(仮平均)

「前日」からの増減値から、それぞれの日の差や、平均を求めることができるかの確認です。「初日」からの増減値の表に作り替えると解きやすいでしょう。(3)は仮平均の考え方を理解できているか、そしてその考え方を応用できるかを試しています。

### 4 正負の数の利用(整数)

(1) (Aの3枚の和)=(Bの3枚の和)=(Cの3枚の和) …①

(Aの3枚の和)+(Bの3枚の和)+(Cの3枚の和)=(全9枚の和) …②

①・②から、(Aの3枚の和)=(全9枚の和) $\div$ 3であることに気づけたかの確認です。

また、(全9枚の和)を求める際に、絶対値の等しい正負の数の和が0となることを利用すると、(全9枚の和)=(+4)+(5)=+9と簡単に求められることも気付きたいことの一つです。

- (2) (i)  $-3, -1, +1, +3, +5$ の中から、絶対値がすべて異なり、3つの和が+3となる3数の組合せを発見できるかを確認しています。(ii) Bの3枚の積が0であることより、Bは0をもらったことに気づけるか、また、0とAの3枚を除いた残り $-2, -1, +2, +3, +4$ から、和が+3となる2枚を発見できたかを確認しています。

## 5 文字式の利用 (面積)

- (1) (i) 長方形の面積から、3つの直角三角形の面積を引くだけですが、文字式の計算を含むためややミスしやすい問題です。しかし、この程度の問題をミス無く計算できる力を身につけたいものです。

(ii)  $\triangle AJG$  と  $\triangle HJG$  をそれぞれ辺  $JG$  を底辺とみると、それぞれ高さが線分  $BG$ , 線分  $CG$  の長さとなります。あとは解説のように  $\triangle JBC$  に等積変形してもよいですし、(底辺) $\times$ (高さの合計) $\div$ 2 で面積を求めてもよいでしょう。

- (2) 難問として出題しました。(1)(ii)をヒントに解説の考え方に気づけたら立派です。

## 6 規則性

経験のない問題に対する対応力を試しています。

- (1) 解説のように、22個ずつ区切り、40組目の1個目の数が40個目に印が付けられる数だと考えてもよいです。または、等差数列でよく使われるように、1に22を39(=40-1)回足した数と考えてもよいでしょう。

- (2) 解説のように、22個ずつの区切りで考えてもよいです。または、1に22を何回か足してはじめて1001を超える数を求めてから1001を引いてもよいでしょう。

- (3) 22個ずつ区切ると、1周目には45組とはんぱが11個が含まれます。22-11=11なので、2周目は残りの11個とちょうど45組が含まれることに気づけると、2周目の最後の数でちょうど区切りが終了することがわかります。そのことから、3周目に1に印が付けられ、そこで終了することもわかります。あとは1周目と2周目で印に重なりがないことがわかれば、簡単な計算で答えが求まります。

## 2023 第1回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【国語】

中学生最初のテストということで、基礎的内容を中心に、これから何度も受けることになるテストの答案をいかに作っていくか、その練習的な位置づけとして出題しています。

### ㊦ 漢字の読み書き

基本的なものを中心に出题しましたが、(1)・(2)・(6)・(8)は現時点では少し難しい出題でしたので、正解できなかった人はこれを機に覚えるようにすればいいです。また(6)・(7)のような訓読みの漢字の読みについては、ミスが頻繁に見られるのでしっかり覚えましょう。訓読みの漢字については、特に注意が必要です。

### ㊦ ことばの知識・用法

ことばについてのさまざまな基本知識は、国語力の根底をなすものです。折に触れてことばの知識を広く習得していくことで、読解力・表現力・ひいては作文などの論述力も確実に伸ばしていくことができるでしょう。総合的な国語力の基礎だということを是非とも意識して、学習を進めていきましょう。

体の一部を使った慣用句、対義語、漢数字を使った四字熟語など、今回出題したものは頻出なので、他にどのようなものがあるか、確認しておきましょう。

### ㊦ 随筆文の読解……… 遠藤周作「劣等生、母校に帰る」。

今回は、ユーモラスな文章でありながら構成もしっかりと捉えやすい素材文を採択しました。読みやすいからという理由でたださらっと読み流すのではなく、丁寧に文章をたどる読み方が求められています。たとえば問二・問六などは、文章構成の把握力を測るための出題です。正解になっていけば素晴らしいですね。加えて、現段階での語彙力の程度を確認するための設問も幾つか挟み込んで出題しています。国語の読解においては、必ずしも辞書的な意味を明確に言えなくても、前後の文脈から使われている語の意味を推測し読み進める力もまた重要です。結果を総合的な視点で振り返り、バランスの良い国語力習得を目指していきましょう。

#### 四 論説文の読解…………… 池上彰『相手に「伝わる」話し方』。

中学生になって初回の学力テストということで、今回は論説文というジャンルの特性を生かし、文章の流れをどの程度把握する力があるかを確認する設問に重きを置いて出題しました。具体的には、短い字数の記述問題ですが、問三では、本文中で書かれて表現されている一例に留まらない内容としての「もの」を捉え切れているか、また問十では、細かい部分の表現に注意を払うことで紛らわしい文脈を正確に追い切れているかなど、本文中でのポイントとなる随所で立ち止まり、それぞれが自分の基礎的な国語力の有無を確認できるような形で設問を立ててあります。出題の意図を理解して、どのような部分が自分の弱点なのかを知り、今後の学習によって補強していく方法を考える手段としていただければと思います。